

「情報・交流」の政策体系

(分野)

情報・
交流

(基本方針)

まちづくり情報の
提供の充実

多様な交流活動の
展開

大学などを生かした
まちづくりの展開

(施策)

まちづくり情報基盤の
整備

行政情報の適切な提供

多文化交流の促進

近隣自治体との連携の
強化

大学などとの共同研究の
充実

大学と地域の連携の
充実

(主要事業)

- ・まちづくり情報広場運営費補助事業
- ・地域ポータルサイト整備事業

- ・インターネット広報事業
- ・広報くさつ発行事業
- ・市長広聴業務

- ・国際交流推進事業

- ・広域行政推進事業

- ・共同研究推進事業

- ・大学等との連携強化事業

■施策評価シート

基本方針番号	(21)-1	施策番号	①	施策名	まちづくり情報基盤の整備					
施策の概要	市内の地域づくりの取り組みに係る情報の受発信の基盤を整備し、市民による活発な情報コミュニケーションが展開されるよう努めます。			責任課	まちづくり協働課					
				記入者	林 大介					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	ポータルサイトアクセス数	千件	48	58	60	58	62		64	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	くさつ情報ネット イベントカレンダー掲載数	件	529	520	530	497	540		550	
(責任課コメント)	ポータルサイトアクセス数：(公財)草津市コミュニティ事業団が運営するポータルサイト「くさつ情報ネット」の年間アクセス数									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	(公財)草津市コミュニティ事業団が運営するポータルサイト「くさつ情報ネット」のアクセス数については、前年度から横ばいの状態である。「くさつ情報ネット」は平成22年度にリニューアルしたが、団体数の伸び悩みがアクセス数に影響していると考えられる。									
評価に基づいた今後の考え	今後は、市ホームページと「くさつ情報ネット」間で互いの事業情報を掲載する等、連携を図りながら情報発信を充実させ、また、リニューアルした要素を効果的に活用しながら市民がまちづくり情報を活用できる機会を充実させていくことが必要である。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	平成22年度にHPのリニューアルを行い、前年比20%増のアクセス数があったものの、周知・啓発等への工夫が十分でなかったことから目標値には届かなかった。			
事務事業	体系	中間支援組織の取り組みにより、市民活動団体が活性化され、まちづくり情報を活用されることに繋がっている。		
	個別内容	(公財)草津市コミュニティ事業団によりポータルサイト「くさつ情報ネット」を運営されており、まちづくり情報発信の基盤づくりに貢献している。		
環境・条件の変化	(団体数の伸び悩みが、アクセス数に影響していると考えられる。)			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細
まちづくり情報広場運営費補助事業	まちづくり協働課	B	拡充	(公財)草津市コミュニティ事業団やまちづくりセンター運営協議会との連携体制を拡充し、市民がまちづくり情報を活用できる機会を充実させることにより、アクセス数の増加に繋げていく。

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	まちづくり情報広場運営費補助事業	まちづくり協働課	B	計画	721	697	218	***	1,636
					実績	581	697			1,278
2	リ	地域ポータルサイト整備事業	情報政策課	D	計画	0	11	126	***	137
					実績	0	0			0
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	0.7	0.7	0.3	***	1.8
	実績	0.6	0.7			1.3
主要事業小計	計画	0.7	0.7	0.2	***	1.6
	実績	0.6	0.7			1.3
リーディング事業小計	計画	0.0	0.0	0.1	***	0.1
	実績	0.0	0.0			0.0
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■ 施策評価シート

基本方針番号	(21)-1	施策番号	②	施策名	行政情報の適切な提供					
施策の概要	市民が必要とする情報を、多様な媒体を用いてわかりやすく迅速に提供します。			責任課	広報課					
				記入者	新庄 貴史					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	ホームページアクセス件数	万件	23.8	45.0	45.0	47.0	50.0		50.0	
	新聞掲載件数	件	266	600	600	851	900		900	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	広報くさつ発行部数(1回あたり)	部	52,700	53,000	53,500	53,600	54,000		54,500	
	こんにちは市長です開催件数	件	5	10	10	7	10		10	
(責任課コメント)										
施策の達成度(責任課による定性的評価)	平成22年度ホームページアクセス件数は目標値を約2万件上回り期待以上の成果を得ることができた。ホームページを適正に管理するため専任の職員を配置した成果が表れている考える。新聞掲載件数については、記者提供資料のうち新聞掲載された件数は目標値を約250件も上回り期待以上の成果を得ることができた。記者への情報提供がタイムリーに行われていると考える。									
評価に基づいた今後についての考え方	ホームページについては、アクセス数がさらに増えるよう、正確な情報をさらに見やすく、かつ、迅速に発信できるよう工夫する。新聞掲載件数についても、目標値を上回るよう、各課への情報提供についての働きかけを積極的に行う。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	ホームぺージアクセス件数および新聞掲載件数について、H23・H24については、目標値を増加させ、さらに成果が得られるよう努める。			
	体系	広報くさつ発行事業・放送委託により市情報をお知らせすることで広く多くの市民に情報を伝達でき、かつ市政への関心を得ることができる。		
事務事業	個別内容	インターネット広報事業により、ホームページの更新が適宜適切に行われ、情報の整理がすすめられ市民にとって閲覧しやすいものとなっている。		
	環境・条件の変化			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細
くらしのガイド作成事業	広報課	D	廃止	事業実施による効果が期待できないとの、平成22年度事業仕分けの結果を受け、平成22年度をもって廃止(民間の活用)

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	マ	インターネット広報事業	広報課	A	計画	6,609	6,045	6,345	***	18,999
					実績	5,992	6,021			12,013
2	-	くらしのガイド作成事業	広報課	D	計画	690	634	0	***	1,324
					実績	544	236			780
3	-	パブリシティ推進事業	広報課	A	計画	2,735	2,766	2,766	***	8,267
					実績	2,417	2,469			4,886
4	主	広報くさつ発行事業	広報課	A	計画	40,661	39,131	43,307	***	123,099
					実績	28,033	30,050			58,083
5	-	広報映画制作事業	広報課	C	計画	781	4,761	855	***	6,397
					実績	451	4,309			4,760
6	マ	市長広聴業務	広報課	C	計画	51	65	65	***	181
					実績	35	46			81
7	-	放送委託費	広報課	C	計画	11,860	11,048	11,048	***	33,956
					実績	11,386	10,810			22,196
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	63.4	64.5	64.4	***	192.2
	実績	48.9	53.9			102.8
主要事業小計	計画	40.7	39.1	43.3	***	123.1
	実績	28.0	30.1			58.1
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画	6.7	6.1	6.4	***	19.2
	実績	6.0	6.1			12.1

■ 施策評価シート

基本方針番号	(21)-2	施策番号	①	施策名	多文化交流の促進					
施策の概要	姉妹都市との交流や、国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図ります。				責任課	まちづくり協働課				
					記入者	林 大介				
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	国際交流事業延べ参加者数	人	233	334	350	330	360		370	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	国際交流事業開催数	回	10	25	25	9	10		10	
(責任課コメント)	国際交流事業延べ参加者数・国際交流事業開催数：草津市国際交流協会(KIFA)が主催する国際交流事業の年間開催回数および延べ参加者数									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	時代潮流を見据えた事業展開とするため、これまでの国際交流中心の事業から、多文化共生によるまちづくりや外国人支援に関連した事業にシフトしていく必要がある。現在、KIFAではビジョンの改定作業を行っており、事業内容の整理を行っていく必要がある。									
評価に基づいた今後についての考え方	今後は新たなビジョンに基づき、事業内容の整理を行っていく必要があるが、単純に交流事業を減少させるだけではなく、地域住民の参加のもと、参加者に多文化共生への理解を促進させるなど、工夫を検討していく必要がある。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	2～4年サイクルで入れ替わる留学生以外は、参加者の固定化(高齢化)が進み、横ばい傾向が続く。KIFAビジョンの見直しを通して、新しいニーズに対応できるよう事業の検討を行う。			
事務事業	体系	草津市国際交流協会の取り組みが草津市内での国際交流の機会に寄与している。		
	個別内容	草津市国際交流協会が実施する新春のつどい、エコ交流、SHIPS(多文化共生支援センター)との合同交流イベント等が、草津市内での国際交流の中心的な役割を担っている。		
環境・条件の変化	財政事情、高齢化、震災等の国内外の問題から渡航型の交流は減少している。			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細
国際交流推進事業	まちづくり協働課	B	目的の変更	今後は新たなビジョンに基づき、多文化共生型のまちづくり・外国人支援の推進に軸足を置いた取り組みをKIFAと連携しながら展開していく。

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い

※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	国際交流推進事業	まちづくり協働課	B	計画	6,782	6,898	6,774	***	20,454
					実績	6,638	6,747			13,385
2	-	姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	D	計画	1,027	864	787	***	2,678
					実績	143	0			143
3	-	中学生国際交流事業	学校教育課	D	計画	1,286	0	0	***	1,286
					実績	0	0			0
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	9.1	7.8	7.6	***	24.4
	実績	6.8	6.7			13.5
主要事業小計	計画	6.8	6.9	6.8	***	20.5
	実績	6.6	6.7			13.4
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■施策評価シート

基本方針番号	(21)-2	施策番号	②	施策名	近隣自治体との連携の強化					
施策の概要	行政区域を越えた共通の課題や、本市単独での対策が困難な課題に、関係する自治体間で協力して取り組むことができるよう、都市間の連携を強めます。			責任課	企画調整課					
				記入者	堀江 俊介					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	他の自治体と共同で取り組んだ事業数	件	4	4	4	3	4		4	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	湖南総合調整協議会開催数	回	5	6	6	8	6		6	
	草津線複線化促進期成同盟会会議数	回	11	11	11	14	11		11	
	広域行政にかかる市加盟団体・会議等の数	件	2	2	2	2	2		2	
(責任課コメント)	【H22広域行政にかかる市加盟団体・会議等】 湖南総合調整協議会、草津線複線化促進期成同盟会									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	現在、広域での取り組みは主に湖南4市で共同して実施している。 観光に係る事業のほか、湖南総合調整協議会では、平成22年度にはJR南草津駅への新快速停車を含めたJR西日本への要望を行った。 南草津駅への新快速停車については平成23年3月12日から開始となった。									
評価に基づいた今後の考え方	今後も現行どおり活動を継続していく。									
備考	【成果指標の内訳】 湖南地域観光動向調査事業(湖南総合調整協議会H21、22)、JRへの要望活動(湖南総合調整協議会H21、22)、観光誘発事業(草津線複線化促進期成同盟会・毎年)、草津線全線開通120周年記念事業(草津線複線化促進期成同盟会H21)									

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標				
事務事業	体系			
	個別内容			
環境・条件の変化				
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	広域行政推進事業	企画調整課	B	計画	2,302	756	437	***	3,495
					実績	1,789	667			2,456
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	2.3	0.8	0.4	***	3.5
	実績	1.8	0.7			2.5
主要事業小計	計画	2.3	0.8	0.4	***	3.5
	実績	1.8	0.7			2.5
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■施策評価シート

基本方針番号	(21)-3	施策番号	①	施策名	大学などとの共同研究の充実					
施策の概要	草津未来研究所において、大学等との共同研究の充実に努めます。			責任課	草津未来研究所					
				記入者	西村					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	立命大との共同研究	件	-	-	2	1	1		1	
	立命大と商議所との共同研究	件	-	-	-	-	1		1	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	立命大との共同研究報告会の開催数	回	-	-	1	1	1		1	
	立命大と商議所との研究会の開催数	回	-	-	-	-	3		6	
(責任課コメント)	1. 立命大との共同研究：H22,H23大規模マンション住民の地域活動と意識に関する調査研究(高村研究室) 2. 立命大と商議所との共同研究：H23,南草津のまちづくりに関する調査研究 3. 立命大との共同研究報告会の開催数：H22,立命大高村研究室による共同研究報告会 4. 立命大と商議所との研究会の開催数：共同研究にともなう研究会の実施目標値									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	立命館大学との共同研究を進めるなか、平成22年度において当初予定していた共同研究テーマのうち1件については、大学との事例調査等の結果、必要性が低いと判断しそれ以上の調査は行わなかった。									
評価に基づいた今後についての考え方	共同研究は、何件行ったという量ではなく、質的向上を目指すことが重要であるから、研究所職員の行う調査研究の研究手法も含めて検討する必要がある。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	共同研究のH22目標値は2としていたが、実績値はこれを下回った。H23以降、共同研究について目標値の適切な設定等を含めて検討する。			
事務事業	体系			
	個別内容			
環境・条件の変化	東日本大震災の発生により、今後、共同研究の方向性やテーマに影響・変化が生じる可能性がある。			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細
共同推進事業	草津未来研究所	B	手段の変更	共同研究は質的向上を目指すことが重要であるから、共同研究のテーマ選定や、研究所職員の行う調査研究との業務量の調整も含め、より効果的な研究活動の方法について検討する。

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	リ	共同研究推進事業	草津未来研究所	B	計画	0	2,000	1,800	***	3,800
					実績	0	0			0
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	0.0	2.0	1.8	***	3.8
	実績	0.0	0.0			0.0
主要事業小計	計画					
	実績					
リーディング事業小計	計画	0.0	2.0	1.8	***	3.8
	実績	0.0	0.0			0.0
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■施策評価シート

基本方針番号	(21)-3	施策番号	②	施策名	大学と地域の連携の充実						
施策の概要	大学と地域が、地域発展のためのパートナーとして連携・協働し、ともに相互の発展を導き出していけるよう取り組みます。						責任課	企画調整課			
							記入者	一浦 辰巳			
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
	立命館大学との連携協力事業依頼数(市内のみ)	件	132	132	150	148	180		200		
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
	立命館大学における地域交流実績のある団体	団体	31	31	31	31	31		31		
	サービスラーニングによる履修人数	人	-	-	-	-	5		5		
(責任課コメント)											
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	立命館大学との連携協力事業については、学生のボランティアと地域をどのように結びつけるかが大切であり、地域のイベント等や市民センターでの事業で継続して連携できるように、照会等があった場合は、積極的に啓発等に取り組んだ結果、目標値には達しなかったが、連携事業数は平成21年度から増加した。										
評価に基づいた今後についての考え方	平成21年6月9日に「草津市と立命館大学とのサービスラーニングに関する協定書」を締結しており、立命館大学におけるサービスラーニングでは、教室でのアカデミックな学習と地域社会での実践的課題への貢献を結びつけた経験学習の一形態であるが、具体的には、地域社会における現実の問題を解決するという課題を、教室で学んだ知識を活かして取り組むことにより、学習内容について深められると共に、市民的责任を学び、市民としての社会参加を促進されるもので、平成23年度からは、本格的に取り組まれることとなっており、従来の連携協力事業以外にこうしたサービスラーニングを通じて、地域に貢献していただけるよう積極的に啓発等を行っていく。										
備考											

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】					
		責任課による分析			関係課のコメント
指標					
事務事業	体系				
	個別内容	地域のイベント等や市民センターでの事業で継続して連携できるように、啓発等に取り組んだ。			
環境・条件の変化		H22はインフルエンザ等の関係で学生の参加数が減少した。			
その他の外的・他律的な事象					
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載					
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細	

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	大学等との連携強化事業	企画調整課	A	計画	0	0	0	***	0
					実績	0	0			0
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	0.0	0.0	0.0	***	0.0
	実績	0.0	0.0			0.0
主要事業小計	計画	0.0	0.0	0.0	***	0.0
	実績	0.0	0.0			0.0
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					